

取議発第 19 号  
令和 2年 5月19日

取手市新型コロナウイルス感染症対策本部  
本部長 藤井信吾 殿

取手市議会災害対策会議  
座長 齋藤久代

### 取手市議会災害対策会議からの提言及び調査について

標記の件につきまして、取手市議会災害対策会議において協議の結果、下記のとおり提言するとともに、調査を求めます。

なお、執行機関におかれましては、通常の業務体制が維持できず、さらに新型コロナウイルス感染症対策の事務等によりご多用と存じますが、スピード感を持った対応及び速やかな回答を求めます。

### 記

#### ○提言事項

##### 1 議会として提言事項としたもの

###### (課題1)

茨城県は、緊急事態宣言が解除され、分散登校による学校再開に向け対応している。長期休校による児童生徒の学力格差が心配されている。県では「いばらきオンラインスタディ」、市では「eライブラリ」による学習を全ての児童生徒が活用できるように取り組んでいるが、自宅にインターネット環境が整っていない児童生徒に対しては、学校のコンピューター教室の利用を周知している。完全な学校再開が見通せぬ状況であり、遠隔授業を公平に推進するためにも、パソコンやタブレット端末で自宅学習ができない児童生徒に対し、学校での授業で使用する分と並行してタブレット端末を貸与できるよう、更なるタブレット端末の増加配布が必要。

なお、この要望提言に関しては、今まさに文部科学省が推進している「GIGAスクール構想」(全国の児童生徒1人1台)を視野に入れた支援事業として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象となっており絶好の機会と考える。

###### (課題1 解決への提言事項)

地方創生臨時交付金を活用したGIGAスクール構想に基づく市内公立小中学校におけるタブレット端末の加配を提言する。

###### (課題2)

買い物支援事業(移動スーパー)。新型コロナウイルスの影響で高齢者等の利用が増え、時間通りに来なかったり、商品不足などの問題が発生している。

###### (課題2 解決への提言事項)

販売場所と販売時間増加のため、車両の増車。一時的な問題でもあるため、軽トラを使い対応している自治体もあるので、速やかに柔軟に対応することにより、収束後も以前よりも利用が高まる可能性もあるため充実を提言する。

**(課題3)**

市HP トップのスライドパネルに今必要な情報として広報すべき。

**(課題3 解決への提言事項)**

飲食店のテイクアウトを市HP のトップ画面 (スライドパネル) に表示することを提言。

**(課題4)**

市内の老人ホームや介護施設においてマスク・アルコール等が不足しているため。

**(課題4 解決への提言事項)**

市内特別養護老人ホーム等、介護施設へのマスク・消毒液の配布を提言する。

**(課題5)**

国の示す新しい生活様式に対応し、今後、ウイルス対策への準備として各課で強化に努めなければならないため。

**(課題5 解決への提言事項)**

オンライン対策事業の強化を提言する。

**(課題6)**

教室での密接を防ぐため、分散時オンライン授業に対応したハードの設置が必要なため。(事前調査では約80台足りない状況)

**(課題6 解決への提言事項)**

各教室へテレビ又はモニターの設置を提言する。

## 2 問題提起・確認事項

- ①感染拡大防止の観点からトイレや公共施設の消毒をどのように行っているのか。
- ②緊急小口資金4月105件、5月1日～6日で19件の申請。総合支援資金4月5件、5月1日～6日で6件の申請。これらで貸し付け決定状況、貸し付けされなかった事案はあるのか。
- ③職員の現在の勤務体制はどのようになっているのか。
- ④外国人への対応について (課題は何か)
- ⑤定額給付金について
  - ・申請等緊急対応に当たるため、通常業務を休止している業務などはあるか
  - ・給付作業における庁内の支援体制について
  - ・高齢者、申請困難と思われる対象者の把握、支援の状況
- ⑥学校再開の見通しについて
  - ・給食、分散登校、登校日設置など、決まり次第報告を
- ⑦雇用調整助成金について
  - ・状況把握はしているか。
  - ・使いづらいと聞いているが、その他情報はるか。
- ⑧首都圏と隣り合わせの取手市、感染症防止にはPCR検査 (ドライブスルーでのPCR検査も含め)

の充実が求められてきたが、県との協議をと繰り返すのみで、市民を守るという観点は感じ取れない。今国は、抗体検査等が始まっている。コロナ感染拡大第二波に対する市の考えは。

⑨消毒液（次亜塩素酸水）が不足し、市民への配布が待たれている。繰り返し議会对策会議でも提案してきたことだが、やっと市対策会議での回答の中で、次亜塩素酸水の製造の購入を決定したとあった。翌日の茨城新聞では、市内や守谷市にあるビール会社が、県内の酒造会社と連携して消毒液を製造、地区内に配布する予定と報道され、市の考えが伝わっていない。現在の進捗状況を明確に伺う。（参考）議会としての提言事項として決定しなかった各会派からの内容

### 3 これまでの回答に関する追跡調査

議会への回答後、方針が決定したものや実施内容が変わったものなど、執行機関として、回答に変更があるものについて、別紙「提言書回答進捗一覧」に入力し、回答を求めます。

以上です。